

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/12/04号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

JMMCで自主減産表明も、原油相場は売りで反応

NY原油先物相場は、1バレル=74~80ドルのレンジで売買が交錯する展開になった。11月30日に石油輸出国機構（OPEC）プラスの合同閣僚監視委員会（JMMC）開催を控え、一時79.60ドルまで上昇した。そのJMMCでは複数の産油国が合計で日量220万バレル規模の自主減産を来年から開始することを表明したが、原油相場は74ドル水準まで急落する展開になった。

JMMCでは、アフリカ産油国の反発もあって、協調減産枠の拡大は合意できなかった。このため、サウジアラビア、イラク、UAE、クウェート、カザフスタン、アルジェリア、オマーン、ロシアが自主的な減産を来年1月から実施することを表明した。サウジアラビアとロシアは現在実施中の自主減産の延長になるが、それでも合計で日量220万バレル規模の減産枠が確保されている。ただし、マーケットでは「協調減産」ではなく「自主減産」に留まったため、本当に減産が実施されるのか不透明感が警戒され、原油相場は売りで反応した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（11月24日時点）は、原油が前週比161万バレル増、ガソリンが176万バレル増、石油精製品が522万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

JMMC後のトレンド形成見送り、70～80ドルのボックス相場へ

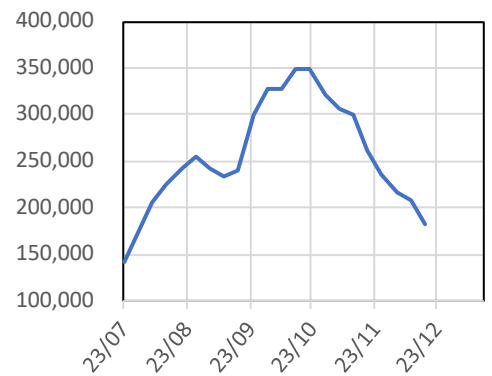
11月30日にJMMCが開催されたが、日量220万バレル規模の自主減産発表でも原油相場の上昇再開は見送られ、地合の悪さを再確認している。実際に今回表明された自主減産が実行されれば、年明け後の国際原油需給に対する影響は大きいですが、減産の履行状況を見極めたいとの慎重ムードが優勢になっている。自主減産が履行されるのかは年明け後まで分からないため、年内はこのまま現在の70～80ドルのレンジで方向性を欠く展開が続く可能性が高くなっている。

JMMCでの原油価格押し上げに失敗したことで、産油国の動向に注意が求められるが、年内は追加の政策調整などは行われないうろ。自主減産の表明を受けて70ドル割れに向けて大きく売り込むことが難しくなる一方、実際の減産実施状況を見極めたいとのムードが80ドル水準で上値を抑える展開が続く見通し。ボックス相場を前提とした対応が基本になる。

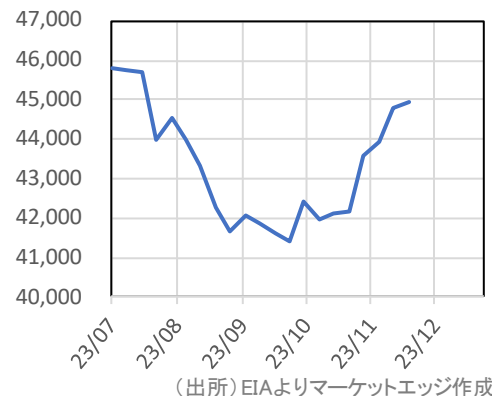
米原油在庫は6週連続で増加している。米産油量の水準が切り上がる一方、製油所稼働率が例年と比較して低めに抑えられていることが、在庫積み増しを促している。ただし、製油所稼働率も上昇傾向が強まり始めており、原油在庫が7週連続で増加するのか、8週間ぶりに減少に転じるのかは重要。JMMCの開催を終えて、売買テーマの乏しさから改めて在庫統計が注目されやすくなっている。

米利上げ終了観測から株高、ドル安傾向が強まっていることはポジティブ。12月8日には11月米雇用統計が発表されるが、特にドル安傾向が追認されると、為替環境から下落余地が限定されよう。

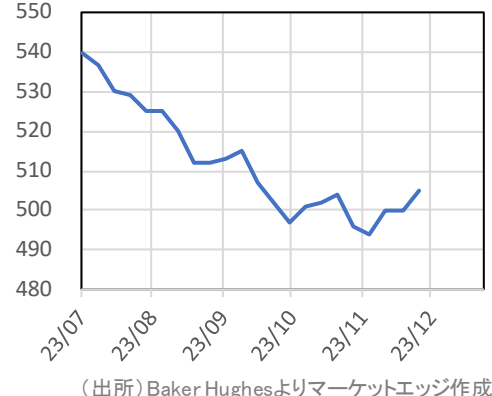
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

